



第17回 資源循環型肉牛生産シンポジウム2020  
日本産肉研究会第26回学術集会

先着80名  
入場無料  
事前予約必須

# 新型コロナウイルス感染症 パンデミックの経験を乗り越えて 次の畜産を考える

～これからの新しい社会システムにおける畜産の生産、販売及び消費を見直す～



**日時** 2020年10月29日(木) 13:00▶▶17:00  
**場所** とかちプラザ2階 視聴覚室  
〒080-0014 北海道帯広市西4条南13丁目1

これまでの日常的な生産活動や経済活動が新型コロナウイルスによって崩れかけている。これは近代世界、畜産に対する警笛ではないだろうか。

畜産業界は近年、大きな波をいくつも乗り越えてきた。鳥インフル、口蹄疫の大量処分、BSEの発生、放射能汚染やら、ユッケ生食事件、レバー生食禁止、全て風評被害がまとわりつき、それに合わせ畜産物の価格相場が乱高下した。今回の新型コロナウイルスでも経済活動がストップし、生体、牛肉相場が崩れた。いかに国内の畜産業がインバウンド系の消費に依存していたか明確になったと思う。この前代未聞の渦中でも生産者は肉牛、乳牛を飼養し、流通業者は加工、販売していかねばいけぬ。新型コロナウイルスが収まればそれでいいのだろうか。今こそ、生産、流通、消費、研究者が改めて目線を同じにして、新型コロナウイルス感染症を乗り越えた先の新しい畜産を模索すべき時ではないだろうか？この見えないウイルスはかしこい。我々の今の業態で耐えられるだろうか？国内の反芻家畜生産は、ヨーネ病や白血病のような未解決の伝染病への対応も迫られている。畜産業界はウイルスと共存できるだろうか？国際化と防疫の折り合いをどのように付けて共存してゆけばよいのだろうか？本シンポジウムでは、これらの「？」を皆さんに問いたい。

## 基調講演

### 「畜産における人畜共通感染症」

北里大学獣医学部獣医衛生学研究室教授  
兼 附属フィールドサイエンスセンター八雲牧場 牧場長 **高井 伸二氏**

#### 話題提供1

### 「生産者視点での新型コロナウイルス拡大の影響と対策」

北十勝ファーム 社長 **上田 金穂氏**

#### 話題提供2

### 「流通業者視点での新型コロナウイルス拡大の影響と対策」

マルハニチロ株式会社 課長代理 **岩崎 方保氏**

#### 話題提供3

### 「消費者視点での新型コロナウイルス拡大の影響と対策」

㈱グロッシー 代表 **北村 貴氏**

#### 話題提供4

### 「肉牛専用種枝肉共励会の成績について」

帯広畜産大学 教授 **口田 圭吾氏** 受賞生産者

## パネルディスカッション

司会: 日本産肉研究会 会長 **松崎 正敏氏** パネラー: 講演者4名

※各講演者の講演内容はタイトルの内容となりますが、講演タイトルは(仮)となります。

### 例年行っている

- ・意見交換会
- ・eびーふ食味試験
- ・現地検討会(中止致します)



共催: 環境リサイクル肉牛協議会、日本産肉研究会、北海道アンガス牛振興協議会、北海道短角牛振興協議会、北海道オーガニックビーフ振興協議会、帯広市

後援: 帯広畜産大学、北海道十勝総合振興局、芽室町農業協同組合、十勝農業協同組合連合会、北海道総合研究機構畜産試験場、北海道酪農畜産協会、NHK帯広放送局、北海道新聞帯広支社、日本農業新聞北海道支所、十勝毎日新聞社

### 新型コロナ対策

- ※入口にて名簿記入・消毒・検温を行っておりますので、ご協力ください。
- ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては行事の内容を変更、中止することがあります。
- ※来場にあたっては、マスクの着用などの感染拡大防止対策にご協力ください。
- ※当日体調がすぐれない方は来場をご遠慮ください。

シンポジウム  
申込み・問合せ先

TEL:0156-64-0606 FAX:0156-64-3212

e-mail: nisimiti-yukiko@hro.or.jp (地独)道立総研機構 畜産試験場 肉牛グループ 担当 西道 由紀子

# 環境リサイクル肉牛協議会の活動

環境リサイクル肉牛協議会は、資源循環型牛肉生産の普及・展開を目的として2008年に特定非営利活動法人に認可されました。飼料自給率30%以上(乾物換算)を達成し堆肥を畑地還元する資源循環型生産体制で生産された肉牛を環境にやさしい生産方式による牛肉として認証するeびーふ認証制度を展開し、副産物飼料に関する情報を提供しています。資源循環型牛肉生産シンポジウムでは未利用飼料資源の活用、地域の副産物利用による牛肉生産について生産者、消費者、流通業界および大学・研究機関など多角的立場からの意見交換を行い、資源循環型牛肉生産の意義浸透を図っています。今年も多くの方々にご参加いただき、副産物や自給飼料の活用による牛肉生産について理解を深める機会となることを期待しております。

## プログラム

13:00～ 開会挨拶

13:05～14:20 基調講演 「畜産における人畜共通感染症」

北里大学獣医学部獣医衛生学研究室教授 兼 附属フィールドサイエンスセンター八雲牧場 牧場長 高井 伸二 氏

14:20～14:45 話題提供1 「生産者視点での新型コロナウイルス拡大の影響と対策」

北十勝ファーム 社長 上田 金穂 氏

14:55～15:20 話題提供2 「流通業者視点での新型コロナウイルス拡大の影響と対策」

マルハニチロ株式会社 課長代理 岩崎 方保 氏

15:20～15:45 話題提供3 「消費者視点での新型コロナウイルス拡大の影響と対策」

(株)グロッシー 代表 北村 貴 氏

15:45～16:05 話題提供4 「肉牛専用種枝肉共励会の成績について」

帯広畜産大学 教授 口田 圭吾 氏 受賞生産者

16:15～17:00 パネルディスカッション

司会:日本産肉研究会 会長 松崎 正敏氏 パネラー: 講演者4名

17:00 閉会挨拶

例年行っている

・意見交換会 ・eびーふ食味試験 ・現地検討会 は中止致します

## 参加申込書

締切期限  
**10月20日(火)**

参加される方は、FAXまたはE-mailで必要事項を記入の上お申し込みください。

道立総研機構畜産試験場肉牛グループ 担当 西道 由紀子

FAX送付先 **0156-64-3212** E-MAIL: [nisimiti-yukiko@hro.or.jp](mailto:nisimiti-yukiko@hro.or.jp)



氏名	所属(会社名・団体名等)	連絡先(TEL)